

施工段階		地業・土工事		2	設備工事：	シート番号 2-2
電気	空調	衛生	その他		土間配管	
—	○	○	—			

ポイント

■慎重に対応したい土間配管

- ・土間スラブ下に埋設される設備配管はメンテナンスや更新が難しくなります。
- ・埋設される配管の防食施工が必要です。
- ・埋戻し土が圧密沈下を起こし、埋設配管が下がってしまう恐れがあります。
- ・埋戻し土の締め固めや地盤改良を行う建築の土工事と設備配管埋設のための掘削工事の取り合いが発生します。
- ・着工後にスラブの構造形式を変更することは難しいので、重要な配管が通る場合は設計段階からピット構造にできないか検討が必要です。

先輩アドバイス

- ・圧力系配管などの埋設される設備配管を少なくできないか、配管ルートを見直してみましょう。
- ・手戻り手直しができないので工程内の品質管理をしっかり行いましょう。
- ・土工事、床躯体工事としっかり連携しましょう。
- ・排水管の勾配管理を確実に行いましょう。
- ・防食は配管と共に支持金物にも注意しましょう。
- ・経年経過による圧密沈下を考慮し、配管の吊り支持やブラケット支持を確実に行いましょう。

チェック項目

- 建築工事と作業手順の確認や工程調整を行いましたか。
- 設備配管の継手施工や防食施工は確実に行了いましたか。
- 支持金物はステンレス製などの防食性の高い材料を使用していますか。
- 支持金物の取付位置、間隔は確認しましたか。
- 水圧試験や満水試験等の工程内検査を行いましたか。
- 埋戻し後の転圧、締め固めは十分に行いましたか。



土間配管検査の例



満水試験の例

失敗すると...

- ・排水勾配が不足して排水障害を起こす恐れがあります。
- ・数年後に腐食により漏水不具合が発生する恐れがあります。

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
		—	—	○	—	—	—	—	—
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂		